

令和元年度 地域公開研修会開催実績

開催日	開催場所	主催	研修区分	テーマ
4月25日	講堂	抗菌薬適正使用支援チーム	ASTセミナー	1時間でわかるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)の今と未来 ～悪夢が現実にならないために、今から〇〇で対策を！～
5月9日	講堂	学術研修委員会	第959回学術研修会	タイトル:脳梗塞治療のパラダイムシフト 〈演題1〉脳梗塞再開通療法の変遷 ～血栓を“溶かす”から“掴み取る”へ～ 〈演題2〉誰もが発見者になりうる脳卒中の院内発症 ～より早期の対応でよりよい回復を～
5月27日	講堂	学術研修委員会	第431回臨床病理検討会	S19-02 80代 女性 メトトレキサート内服中の貧血両側胸水にて紹介となった症例(リウマチ免疫内科) S19-03 60代 女性 子宮体癌化学療法後(緩和ケア内科)
6月5日	第6会議室	助産師教育委員会	2019年度新採用助産師研修	1.胎児心拍数モニタリングの判読 ～胎児心拍数モニタリングの基本的な知識を習得できる ・分娩期胎児心拍数陣痛図の判断が言える(reassuringの判断基準) ・異常な胎児心拍数陣痛図が解り、胎児心拍数波形分類に基づいた対応が言える 1)胎児心拍数陣痛図の異常(loss of variability deceleration)が言える 2)胎児心拍数陣痛図と子宮収縮の関連(子宮収縮時の胎児心拍の変化、ED、VD、LD)が言える 3)胎児心拍数陣痛図を読み取り、対応について言える
6月6日	講堂	クリニカルパス運営委員会	クリニカルパス講演会	『病院における質向上活動～臨床指標とクリニカルパスの利活用～』
6月11日	講堂	外来化学療法センター運営委員会	第1回外来化学療法センター研修会	外来化学療法センターにおける患者ケア 演題1. Steroid Sparing を考える～薬剤師の立場から～ 演題2. リウマチ性疾患に対する生物学的製剤を用いた治療
6月13日	講堂	糖尿病療養支援委員会	第12回DMSTセミナー・第42回糖尿病療養指導研究会	『糖尿病の基本とリスクマネジメント』 演題①「糖尿病療養支援におけるリスクマネジメント」 演題②「糖尿病治療の基本と最新の話」
6月19日	講堂	抗菌薬適正使用支援チーム	ASTセミナー	50分でわかる！ ～はじめてさんのための抗菌薬基礎知識～
6月24日	講堂	学術研修委員会	第432回臨床病理検討会	S19-04 60代 男性 頸部膿瘍、侵襲性アスペルギルス症にて死亡された症例(救命救急センター)
6月28日	講堂	日本医師会生涯教育講座	不安または不眠にかかわる研修会	演題1.「平成30年度診療報酬改定抗不安薬睡眠薬等に係わる多剤投与の項目について」 演題2.「睡眠障害の臨床－眠れないと言われた時」 演題3.「不安障害の薬物療法～SSRIと抗不安薬の使用方法について」
7月8日	講堂	NST委員会	第1回NST勉強会	1.「熱中症対策」 ～熱中症は室内に潜んでいる～ 2.「NSTの介入」 ～経口摂取を維持し、全身状態改善に繋がった1事例～ 3.「当院の嚥下食について」 ～安全な食事の選び方～ ～みなさんで調べてみませんか～
7月11日	講堂	学術研修委員会	第960回学術研修会・令和元年度第1回がん診療連携拠点病院研修会	・がん薬物療法における支持療法の新潮流 ～Steroid Sparingを考える～ ・Steroid Sparingを考える ～薬剤師の立場から～
7月17日	講堂	ICT	ICTセミナー	「血流感染防止対策」 中心静脈カテーテル挿入時の2つのポイント
7月19日	講堂	看護部	第1回CNセミナー	高齢者を支える看護 ～QOLを高める食生活支援～
7月22日	講堂	学術研修委員会	第433回臨床病理検討会	S19-05 70代 男性 関節リウマチ、維持透析の経過中に間質性肺炎の悪化で死亡した症例(リウマチ免疫内科)
7月24日	第6会議室	助産師教育委員会	2019年度新採用助産師研修	①切迫早産の病態生理について言える ②切迫早産の検査・治療とその根拠が言える ③切迫早産で管理入院している妊婦へ看護を理解し、必要なケアについて言える

開催日	開催場所	主催	研修区分	テーマ
7月27日	講堂	看護部研修委員会	看護実践報告会・看護研究発表会	<p>〈第1群〉</p> <p>演題1.小児急性期病棟におけるレスパイトケア導入後の葛藤</p> <p>演題2.終末期がん患者への褥瘡予防ケアに対する看護師の葛藤</p> <p>－質問紙を用いた実態調査－</p> <p>演題3.整形外科病棟における術後疼痛管理に関する看護師の実態調査</p> <p>－鎮痛剤使用に至るアセスメントと困難感－</p> <p>〈第2群〉</p> <p>演題4.PICSIに関する学習会後の看護ケアの変化</p> <p>－看護師の意識調査を通じて－</p> <p>演題5.下部消化管内視鏡における前処置法の検討</p> <p>－高齢者を対象に洗腸剤服用量の低減を目指して－</p>
8月6日	講堂	サービスアップ推進委員会	2019年度接遇講演会	より信頼される病院を目指して ～明日から活かせる接遇ポイントとは～
8月9日	講堂	看護部	メンタルヘルス研修会	周囲の人のこころの不調に早く気づき、サポートするための方法や考え方を学びます
8月26日	講堂	学術研修委員会	第434回臨床病理検討会	S19-06 60代 男性 原発性胆汁性胆管炎・シェーグレン症候群を背景に、肝不全、汎血球減少を来し死亡した症例(リウマチ免許内科)
8月30日		助産師教育委員会	2019年度新採用助産師研修	<p>1.産褥期・早期新生児期の生理的変化が理解できる</p> <p>2.退院後の生活をみすえた効果的な助産ケアを実践するための知識を習得できる</p> <p>①産褥期の退行性変化・メンタルヘルスの特徴について言える</p> <p>②早期新生児の生理的変化と観察点が言える</p> <p>③対象の退院後の生活を見据えたアセスメント・助産ケアが言える</p>
8月31日	講堂	看護部	第2回CNセミナー	日々の実践における疑問等、担当CNがエビデンスに基づきお答えします！ また、CNのコラボレーションによる講義や体験型のブースを企画しています
9月6日	講堂	看護師の会	専門看護師セミナー	わかる！気づく！看護倫理 ～精神・がん・慢性期・急性期における専門看護師の意思決定支援を通して～ テーマ：患者・家族の意思決定を支える看護倫理
9月9日	講堂	NST委員会	第2回NST勉強会	<p>1.「アミノレバン」JEN®配合散の有用性と服薬指導について」</p> <p>2.「簡易懸濁法～薬をつぶさず経管投与する方法～」</p> <p>3.「病棟でのNST介入の現状について～6階東病棟での取り組み～」</p> <p>4.「サルコペニアと栄養療法」</p>
9月10日	講堂	外来化学療法センター運営委員会	第2回外来化学療法センター研修会	<p>「がん血液疾患研修会」</p> <p>演題1.血液疾患における化学療法看護</p> <p>演題2.血液悪性疾患の治療：基礎知識から最新治療まで</p>
9月12日	講堂	学術研修委員会	第961回学術研修会	<p>・治し支える医療とリハビリテーション機能</p> <p>・フレイル(虚弱)と急性期リハビリテーション</p> <p>・フレイルに対する「生活を支える」ケアと連携</p> <p>・フレイル患者の摂食機能とは</p> <p>－摂食嚥下機能低下を見落とさないための当院の取り組み－</p>
9月18日	講堂	抗菌薬適正使用支援チーム	ASTセミナー	感染症診療を学ぼう！ ポイントをバッチリおさえてステップアップ ～「肺炎」「カテーテル関連血流感染」～
9月20日	講堂	看護部研修委員会	パートナーシップ・ナーシング・システム(PNS)研修	<p>ねがい</p> <p>PNSの基本的知識・態度を学びパートナーシップに基づいた安全で質の高い看護を提供してほしい</p> <p>【目的】</p> <p>PNSの概念を知り、看護を提供するための基本的姿勢を学ぶ</p> <p>【目標】</p> <p>1)PNSの基本的な考え方について理解したことを言語化できる</p> <p>2)1)をふまえてPNSで看護を提供するうえでの自己の課題と行動目標が言語化できる</p>
10月7日	講堂	看護部研修委員会	2019年度キャリアアップセミナー	組織における役割を認識し、専門職としての自己の在り方を探求する。 (1)キャリア、キャリア発達、キャリアデザインについて (2)専門職としてのキャリア開発について
10月18日	講堂	ICT	ICTセミナー	職員全員で取り組もう！ ノロウイルス感染防止対策
10月18日	講堂	助産師教育委員会	2019年度新採用助産師研修	<p>・母乳育児が円滑に進むための支援について理解できる</p> <p>①産後日数をふまえた乳汁分泌の生理が言える</p> <p>②母子の状況にあった授乳支援に対する考えが言える</p>
10月19日	講堂	看護部研修委員会	自ら成長を続けられる看護職とは	人は誰でも一人では、成長を続けていくのに限界があると言われています。そのため、自分の経験から学ぶ力を身につけていることが求められています。

開催日	開催場所	主催	研修区分	テーマ
10月28日	講堂	学術研修委員会	第435回臨床病理検討会	S19-07 70代 男性 関節リウマチ、陳旧性心筋梗塞の経過中、間質性肺炎が悪化し死亡した症例(リウマチ免疫内科) S19-08 60代 男性 全身性ALアミロイドーシスの一例(血液内科)
10月29日	講堂	褥瘡対策委員会	第1回褥瘡セミナー	褥瘡予防に必要な体位変換とポジショニング -アセスメントとケアの基礎編-
11月1日	講堂	看護部	第3回CNセミナー	高齢者の特性を理解した排泄ケア
11月10日	講堂	総合周産期母子医療センター運営委員会	道央圏周産期医療研修会	「早産と子宮内感染・炎症～病態解明と新たな治療を目指して～」
11月11日	講堂	NST委員会	第3回NST勉強会	1.「形成外科病棟におけるNST介入患者と看護の現状」 2.「NSTにおける臨床検査の落とし穴」
11月15日	講堂	看護部研修委員会	2019年度看護倫理研修	ねがい 日常の臨床場面において倫理的視点をもって行動できるようになってほしい 目的:倫理的視点に基づいた看護を提供するための能力を培う 目標:1)看護倫理の基本的知識について理解したことを言語化できる 2)1)をふまえ、倫理的視点に基づいた看護を提供するための自己の課題と行動目標を言語化できる
11月16日	講堂	糖尿病療養指導研究会	第43回糖尿病療養指導研究会	テーマ『糖尿病と脂質異常』 演題①『脂質代謝～あぶらを食べたらどうなるの～』 演題②『あぶらを見方につけよう～摂り方のコツ～』 演題③『脂質異常症の薬～薬のはたらき～』
11月25日	講堂	学術研修委員会	第436回臨床病理検討会	S19-09 70代 女性 多臓器転移を来し死亡した悪性褐色細胞腫症例(糖尿病内分泌内科) S19-10 80代 女性 関節リウマチで外来加療中大動脈解離と吐血があり死亡した症例(リウマチ免疫内科)
11月26日	講堂	倫理委員会	医療倫理講演会	『人生の最終段階における医療とケアを考える』 ・人工呼吸器中止の考案 ・DNARの誤解と使用の実態 ・事前指示とACP(アドバンスケアプランニング)
11月29日	講堂	助産師教育委員会	2019年度新採用助産師研修	分娩期の助産ケア ・正常分娩を安全に実践するための知識、技術を習得できる ①分娩三要素をもとに助産診断したことが言える ②1を踏まえ、直接介助、間接介助の助産技術が言える
12月20日	講堂	助産師教育委員会	2019年度新採用助産師研修	新生児の蘇生 ・新生児蘇生実践するための知識を習得する ①新生児蘇生のアルゴリズムが言える ②児の状況を判断し、必要な技術が言える
12月23日	講堂	学術研修委員会	第437回臨床病理検討会	S19-11 70代 男性 右肺原発肺癌症例(呼吸器内科) S19-12 70代 女性 関節リウマチを背景に、急性腎不全、気胸、真菌感染症を来し死亡した症例(リウマチ免疫内科)
1月9日	講堂	学術研修委員会	第962回学術研修会	タイトル:みんなで腹膜透析!～多職種で関わり、よりよい治療を目指そう～ 〈概況説明〉当院での腹膜透析の現状 〈演題1〉腹膜透析～自施設の経験～ 〈演題2〉腹膜透析 ゼロからのスタート
1月17日		助産師教育委員会	2019年度新採用助産師研修	妊婦健康診査と妊娠期の保健指導 ・妊婦健康診査、保健指導を実践するための知識を習得できる ①妊娠健康診査の目的と内容が言える ②妊娠期に必要な情報収集を行い、対象の妊娠経過をアセスメントし必要な保健指導が言える
1月25日	講堂	看護部研修委員会	看護実践報告会・看護研究発表会	〈第1群〉 演題1.臨時入院における看護師のストレイン追跡調査 ～PNS導入後のストレスインの変化～ 演題2.精神科病棟へ院内異動した看護師の学習・支援ニーズ ～拒否が強い患者との関わりから感じた困難感～ 演題3.安全に支援透析を行うために活用した看護師の経験知 ～北海道胆振東部地震により支援透析受け入れを経験して～ 〈第2群〉 演題4.A病院がん終末期せん妄患者の身体抑制における看護師の意識調査 演題5.脳血管障害患者への尊厳を考慮した身体拘束に関する実際調査 演題6.定期採血を受ける幼児後期の子どもをもつ親のプレパレーションに関する知意識と子どもへの関わり

開催日	開催場所	主催	研修区分	テーマ
1月27日	講堂	学術研修委員会	第438回臨床病理検討会	S19-13 40代 男性 T細胞リンパ腫の治療中小腸出血を繰り返し死亡した症例(血液内科) S19-14 70代 男性 急性肺炎、肺アスペルギルスの症例(呼吸器内科)
1月28日	講堂	褥瘡対策委員会	NST・褥瘡合同セミナー	1.褥瘡ケアに関する皮膚科のおはなし 2.スキンケアも予防する医療用テープについて
2月6日	講堂	糖尿病療養支援委員会	第13回DMSTセミナー	テーマ:糖尿病と肥満 演題1.肥満症最前線～体重はどうしたら減るのか 演題2.脂肪細胞の役割と働き～痩せられたらいいね～
2月7日	講堂	医療安全対策会議	医療安全体制確保のための講演会	患者の安全を守る医療チームのコミュニケーション ～Team STEPPSを組織文化に活かそう～